

## 事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	工業活性化計画推進事業	コード	7102
-------	-------------	-----	------

2 担当部課	部等 産業振興部	課等 工業振興課	作成者 日岐充利
--------	----------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	人が集い、にぎわいと活力あふれるまち		
		政策	産業の振興	施策	工業の振興
		予算科目	産業活性化推進事業費	業務委託	一部委託
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	基幹産業である工業の振興を図るため、工業活性化計画に基づく重点施策を実施し、評価・検証を行った。
目的	対象者 市内企業（製造業）
	意図 工業活性化計画に基づく事業について評価・検証することにより一歩にめつた事業の推進

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
1 工業活性化会議の開催 平成31年度（令和元年度）、スタートした工業活性化計画に基づく市内企業支援事業の進捗状況等の評価・検証を行うため、開催した。 委員数：16名（市内企業代表者、支援機関等代表者、知識経験者、一般公募者） 開催回数：2回	
2 商工業振興条例に基づく助成事業 市内企業の事業拡大及び企業誘致を推進するため、工場等新設・増設事業、工場移転事業に対して、土地取得費等の一部を助成金として交付した。	
3 企業立地支援補助金 企業誘致を推進するため、市外の企業が賃借により、市内の工場に入居した場合、家賃の一部を補助金として交付する制度の周知を行った。	
4 創業のまち岡谷実現事業補助金 市内での新規創業を促進するため、一定の条件を満たした創業者に対し、家賃や広告宣伝費等の一部を補助金として交付した。	
5 移住・交流産業振興事業 首都圏等居住者に対して、働く場所となる企業が多く立地していることなど、岡谷市の魅力を最大限にPRするなかで移住促進に努めた。（移住促進イベントへの参加等：5回）	
6 諏訪圏6市町村によるSUWAブランド創造事業（技術の高度化と人材育成） 諏訪地域の強みである高度な精密加工技術を活かして、成長産業等の高付加価値な事業分野への進出を図り、所得水準の高い仕事の獲得と諏訪地域のブランド化を目指すため、地方創生推進交付金を活用し、事業を実施した。（最終年度）	
前年度の課題への対応	新たな工業活性化計画に基づき、市内企業のニーズにあった支援が出来た。

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
	区分	29年度	30年度	元年度	2年度（予算）
① 活動指標（指標名）	工業活性化会議の開催回数				単位 回
	実績値	2	6	2	
	*指標の説明	計画推進にあたってのパブリックコメント回数			
② 成果指標（指標名）	工業活性化会議の開催回数				単位 回
	目標値	2	6	2	2
	実績値	2	6	2	
	達成度	100.0%	100.0%	100.0%	
	*指標の説明	工業活性化会議の開催回数			
	*目標値の設定方法の説明	工業活性化計画の進捗状況について、評価・検証を実施するための会議数			

---

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	129,553,020	115,651,031	100,945,520	116,125,000
経常経費	0	0	0	0
臨時的経費	129,553,020	115,651,031	100,945,520	116,125,000
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	8,000,000	11,200,000	11,200,000	11,200,000
正規職員の人数(人)	1.00	1.40	1.40	1.40
③ 合計コスト(①+②)	137,553,020	126,851,031	112,145,520	127,325,000
前年度比		92.2%	88.4%	113.5%
財源	137,553,020	126,851,031	112,145,520	127,325,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	4,000,000	1,866,667	5,600,000	-
前年度比		46.7%	300.0%	-
⑤ コストに関する補足説明	工業活性化計画策定に伴う、パブリックコメント開催回数による増減			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
商工業振興補助金	件数	20	18	14	16
	金額	88,560,000	70,836,000	60,070,000	78,870,000
企業立地支援補助金	件数	2	2	0	0
	金額	861,000	880,000	0	0
田舎暮らし「楽園信州」推進協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	30,000	30,000	30,000	30,000.00
諏訪圏移住しごと支援協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	1,222,360	1,217,940	1,213,098	1,213,000
創業のまち岡谷実現事業補助金	件数	7	12	12	9
	金額	1,580,000	3,097,000	2,405,000	2,970,000
アの①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	92,253,360	76,060,940	63,718,098	83,083,000
	割合	71.21%	65.77%	63.12%	71.55%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 33.3%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 100.0%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) スタートを切った新たな工業活性化計画に基づき、積極的に基幹産業である製造業の支援を行っているが、生産年齢人口の減少傾向に伴う、人材不足とコロナウィルスの影響による先の見えない経済状況が課題である。	
	改善方法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 工業活性化会議による工業活性化計画の重点施策の検証・評価と、計画の目標指数の管理を行うとともに、積極的に市内企業訪問を行い、現状把握に努める。
改善開始時期		令和2年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	--	---